



バック・エックス

規則改正も怖くない!? 業界内転職、四つのバリュー

**冷静に考えたい
業界の未来**

「職場がなくなってしまう…」
警察庁が規則改正の意向が示したのが、昨年2月。それ以降、自分の将来に不安を感じ、ある種、パニック状態で相談に来る求職者が増えてきているという。

直近1年を見ても、パチンコ業界と異業種の両方を視野に入れてくる転職希望者が約60%アップ。人手不足が叫ばれる中、転職の意識が、他産業にシフトしてきているのは間違いない。

しかし、「いったん冷静になってほしい」と訴えるのは、バック・エックスの窪田淳二執行役員。

「不動産業や保険業などに転職される方がいますが、攻めの営業職と待ちの姿勢のホール業務とは、完全にミスマッチ。『成績を上げれば600万、700万、稼げますよ』と言われると、今の年収が確保できると勘違いしてしまいがちですが、実際は成績が上がらず、350万円程度の方が多くいらっしゃいます。では、給与の高い運

送業や建築業はどうかというところ、ホールに比べても、体力的にたらい。なので、早まらないでいたいただきたいのです」

**企業選びを間違えなければ
転職は今がお得!?**

では、冷静になって考えてみよう。規則改正でホール業界はどうなるのか?

店舗数が減る↓大手・中堅企業に、ホールが集約される↓一方で、店舗あたりの台数は増える↓質の良いスタッフを増やさなければならぬ↓人手不足になる↓しかし、業界の先行きが不安視されているので、新卒採用はこれまで以上に難航する↓優良企業ほど、人手不足が加速化↓超売り手市場になる。

「だから、やる気のある人にとっては、チャンスだとお伝えしています。選ぶ会社さえ間違えなければ、良い待遇を受けられますから。他産業に比べれば、福利厚生もよほど整っています」
しかし、業界の縮小が避けられ

ない中、将来への不安はどうしてもついて回る。

これに対して窪田氏は、「見方を変えれば、優良ホール企業に集約されて安定期を迎える前触れともいえます。例えば、電気店も企業としては数えるほどしかありませんが、安定していますよね?生き残る会社を選んでおけば、心配せずにすむ時代が来るはずですよ」と力説する。

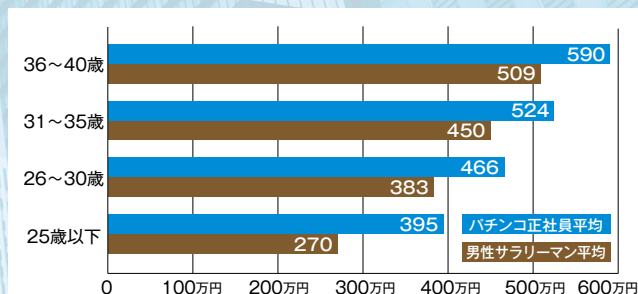
では、どのくらいホールが減るのかというと、複数のコンサルタントの意見を総合すると、3年間で少なくとも2000店舗が撤退すると考えられている。とすると、ホール数は7000→8000店舗に…

「機械代も抑制され、固定費も下がっていくはずなので、7000店舗を切ると、グッと業界の安定度が増してくるのではないでしょうか」

であれば、他産業に行くより、生き残るはずの優良企業に転職した方が、ずっと得といえる。もちろん、「強豪店に移ってやっつけるか」といった不安はあると思うが、「これまで支援した方々を見ていえることですが、環境が変わると、人は変わります。ですの

で、異業種に行く前に、ぜひ一度、チャレンジしてほしい」と窪田氏。

これまでの話をまとめると、①超人手不足で、労働条件のままですの良化が見込めるホール業界を離れるのもつたいない。②他産業に行っても、キャリアアップで



すべての年齢で、パチンコ店の正社員の年収が高いことが分かる。年齢が上がるほど、他業種との差は縮まるが、同じクラスの役職者で比較すると、年収には、さらに大きな開きが出るという。

きるのはごく一部。③縮小するとはいえ、生き残る法人は強い法人ばかりで、安定期に入る。④優良企業に転職することで、これまでとは違う自分になる機会が与えられる。

「例えば、それなりの経験を積まれた主任クラスの方で、中堅ホール企業に転職したいのであれば、すぐにでもご紹介できます。全国展開を考えている準大手の法人では、当該企業の地元ではない、別のエリアで活躍できる人材を求めていますから」

給与(表参照)や労働時間の実態など、他産業の「甘言」に乗せられる前に、まずはバック・エックスに相談してほしい。混迷期だからこそ、チャンスが身近なところから転がっている可能性もあるのだ。



窪田淳二 執行役員

1978年12月13日、千葉県市川市生まれ。遊技機メーカーの営業マンを経て、2005年9月にバック・エックス入社。これまでに、3000人以上の転職を支援。20人ほどいる同社のキャリアコンサルタントの中でも、トップの実績を誇る。